

掲示用

No.239 令和5年9月発行

あき でんとうぎょうじ じゅうごや  
秋の伝統行事「十五夜」

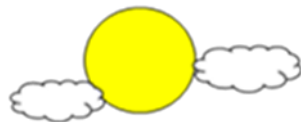
9月 日( )

秋の伝統行事といえば「十五夜」があります。今年ことしの十五夜は、9月がつ29日にちきんようび金曜日になります。十五夜は「中秋ちゅうしゅうの名月めいげつ」といい、この時期じきは空気が澄すんで月つきがとてもきれいに見えます。

十五夜ばしよの日に、月が見える場所さといもに里芋くりや栗つきみだんご、月見団子そなをお供えし、稲いねに見立てたススキかざを飾り、お月見のうさくぶつをしながら秋の農作物しゅうかくの収穫ねがを願う行事として人々に広まりました。

このころ採れる里芋とをお供えすることから、十五夜を「芋名月いもめいげつ」と呼ぶ地域ちいきもあります。みなさんも、十五夜のきれいな満月をながめてみましょう。

給食きゅうしょくには、秋かんを感じることができ「さんま」や「みそけんちん汁じる」・「十五夜デザート」が出ています。自然しぜんの恵みめぐに感謝かんしゃしながら、味わあじっていたきましょう。



栃木市マスコットキャラクター  
とち介